

事業所名 児童発達支援 てらこやキッズクラブ1(多機能型)

支援プログラム（参考様式）

作成日 R7 年 2 月 1 日

法人（事業所）理念		子どもと保護者に寄り添った優しい会社										
支援方針		集団生活の中で、その場の状況を見て、考えて、判断して行動できるよう、社会性や認知機能の向上を図ります。 お友だちと良い関係を築いたり困った時に困っていると言えたりするためのコミュニケーション能力を身につけ、言葉でのやりとりを増やしていきます。										
営業時間		9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○健康の増進を目的にラジオ体操等を取り入れながら、体力維持や運動能力向上を図ります。 ○基本的な生活スキルとして、整理整頓をし忘れ物をなくす等、持ち物を自分で管理できるように支援します。 ○土曜日を中心にカレー作り等のクッキングに取り組み、生活スキルの獲得を目指すとともに、食育を行います。										
	運動・感覚	○姿勢の保持や、運動能力（粗大・微細の両方）・体幹の改善および強化のため、作業療法士と協力しながら支援にあたります。 ○視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、集団活動や遊びを提供します。また、視覚優位な児に対してはカードを用いて説明する等、個別に対応します。 ○ビジョントレーニングを行い、視覚機能の向上を図ります。										
	認知・行動	○空間・時間等の概念や感覚の形成を図り、認知・行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ○制作・カードゲーム等の集団活動や遊びを通して、数量・大きさ・重さ・色の違い等の習得を図ります。 ○各児童の特性を踏まえ、それぞれに合った方法での情報伝達を心がけます。										
	言語 コミュニケーション	○宿題を中心に学習支援を行います。また、プリント学習でそれぞれの課題に取り組みます。 ○読書やカードゲーム等を通して語彙を増やし、意思伝達に役立てられるよう支援します。 ○自発的な意思伝達を目指し、必要に応じて代弁する等見本を示しながら経験を積み重ねます。										
	人間関係 社会性	○集団生活に必要なスキルの獲得を目指し、ルールや手順を確認する声かけや個別対応を適宜行います。 ○人との関係を意識し、家族・友人・先生等それぞれに合った距離感で関係を築けるよう支援します。 ○その場の状況や相手を踏まえ、適切な言葉使いや行動ができるよう支援します。										
家族支援		○送迎時や定期的な面談の機会に保護者と情報共有を行い、保護者の気持ちに寄り添いながら、協力体制を整えます。 ○安心してサービスを利用していただけるよう、丁寧な関わりを心がけます。							移行支援	○学童の利用やサービスの終了、他事業所の利用等を適宜検討し、それぞれのニーズに応じた支援が行えるようにしていきます。		
地域支援・地域連携		○送迎時やケース会議等を通して、学校・他事業所・学童等と情報共有を行い、共通理解のもと支援を行います。							職員の質の向上	○事業所内で定期的な研修を行い、支援の質の向上を図ります。 ○児童の来所前の時間等を活用し、児童の様子を共有しながら、共通理解のもと支援を行う体制を整えます。		
主な行事等		○遠足、夏祭り、運動会、社会見学、ハロウィン、クリスマス会、もちつき、節分の会、ひな祭り、毎月の誕生日会 ○避難訓練や交通安全教室 ○カレーやホットケーキ等のクッキング、近隣の公園や施設へのおでかけ等										